

I S A P 2018



イオン 脱炭素ビジョン2050

2018年7月18日
イオン株式会社
グループ環境・社会貢献部
金丸 治子

イオングループの概要

日本・中国・アセアンで、21,742店舗を展開。



合計 21,742店舗/カ所

● GMS(総合スーパー)	584店舗
● SM(スーパーマーケット)	2,185店舗
● DS(ディスカウントストア)	568店舗
● HC(ホームセンター)	122店舗
● CVS(コンビニエンスストア)	5,436店舗
● 専門店	4,324店舗
● ドラッグストア	4,376店舗 ^{※1}
● その他(小売)	938店舗
● モール型SC(ショッピングセンター)	311カ所 ^{※2}
● NSC(近隣型ショッピングセンター)	162カ所 ^{※3}
● 金融	690カ所
● サービス	2,045カ所
● タスマニア直営牧場	1カ所

※1 友好提携会社を含む

※2 名称が「イオンモール」のSCに加え、総賃貸面積20,000㎡以上のものを含む

※3 名称が「イオンタウン」のNSC

連結子会社、持分法適用関連会社の店舗数

(2018年2月末時点)

イオン サステナビリティ基本方針

私たちイオンは、「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という基本理念のもと、「**持続可能な社会の実現**」と「**グループの成長**」の両立を目指します。

取り組みにあたっては、「**環境**」「**社会**」の両側面で、グローバルに考え、それぞれの地域に根ざした活動を、多くのステークホルダーの皆さまとともに積極的に推進してまいります。

環境面の重点課題

- ・低炭素社会の実現
- ・生物多様性の保全
- ・資源循環の促進

社会面の重点課題

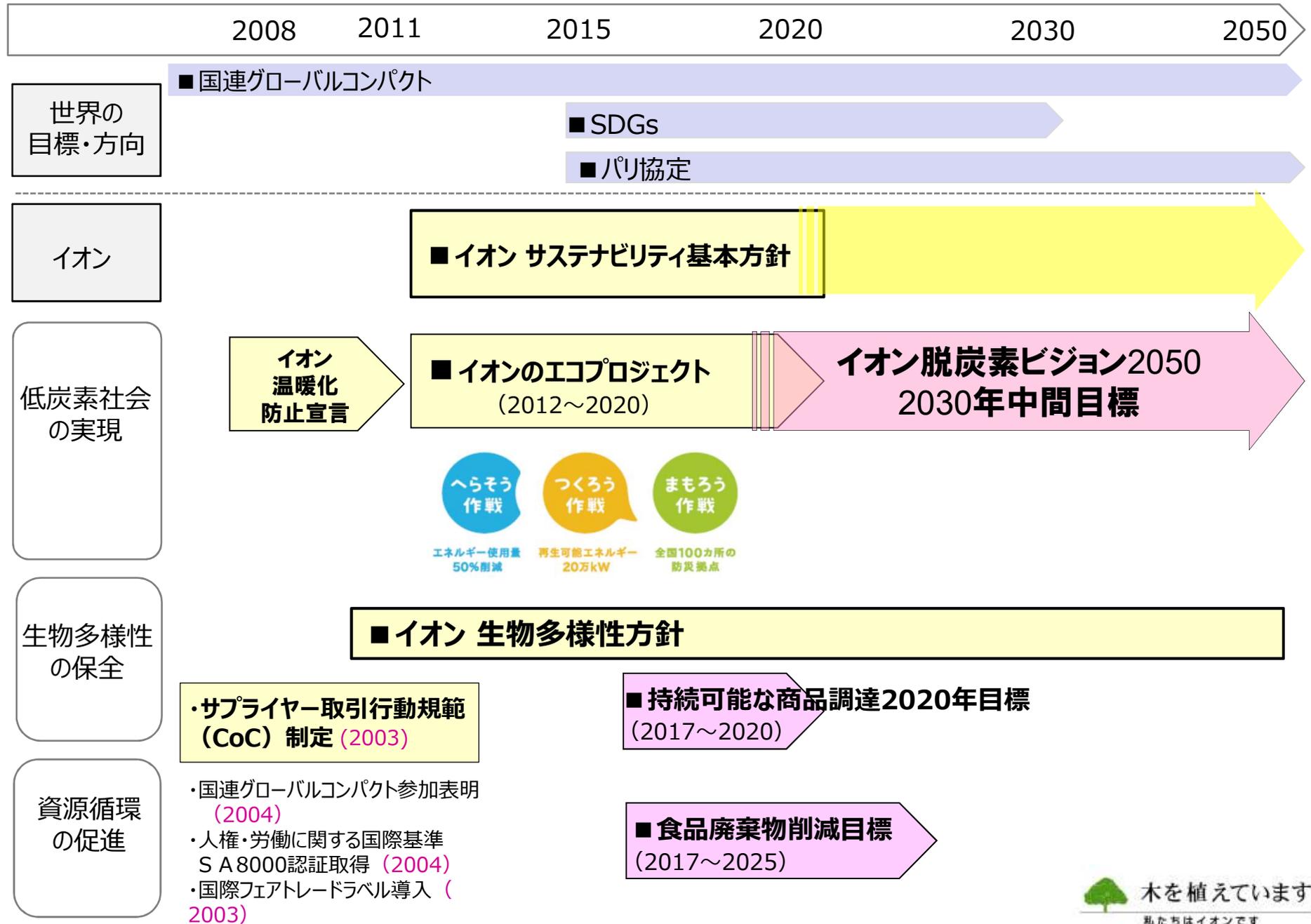
- ・多様な消費者課題への対応
- ・公正な事業活動の実践
- ・人権と多様性を重視した職場づくり
- ・コミュニティとの協働

取り組み
の視点

店舗で

商品で

お客さまとともに



脱炭素社会の実現に向けて

イオン 脱炭素ビジョン2050

イオンは、3つの視点で温室効果ガス（以下CO₂等）排出削減に取り組み、脱炭素社会の実現に貢献します。

店舗

店舗で排出するCO₂等を2050年までに総量でゼロにします。

商品・物流

事業の過程で発生するCO₂等をゼロにする努力を続けます。

お客さまと
ともに

すべてのお客さまとともに、脱炭素社会の実現に努めます。

2030年目標達成に向けて

2030年までにCO₂排出量**35%**削減 (2010年比)

《達成手段の考え方》

イオンのCO₂排出量の約9割が電力由来

店舗使用電力の削減と再エネ転換

省エネ

再エネ

RE 100

脱炭素社会の実現を目指して

